

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

作成主管課	市民活動課
	秘書課
関係課	
施策名	国際化
施策コード	5-3-3

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕
	小政策	3 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	<p>急速な技術の発展と経済の関係性や、温暖化などの課題から、人的、物的な活動範囲は地球規模に拡大しています。観光や経済面における国の政策をはじめ、国内企業における英語公用語化など、国内だけではなく国際的な視点に立った方針や取り組みが進められています。また、東日本大震災では、外国人住民に対する避難誘導など、防災体制の在り方が改めて問われました。</p> <p>本市では、国際交流協会と連携を図りながら、在住外国人との交流事業や生活情報チラシ、マップの作成・配布を行い、また、笠間市ふるさとづくり寄付金を活用した青年海外派遣事業、市の特産である菊を縁としたドイツのラー市との交流など、積極的な国際交流事業を実施してきました。</p> <p>今後は、国際的な視野をもつ人材の育成をはじめ、外国人の生活の場として、互いの文化や考え方の違いを尊重しながら、快適に生活できる多文化共生の地域づくりを推進していく必要があります。</p>	
施策目標	国際化の進展に対応できる人材育成や海外都市との交流に努めるとともに、在住外国人との交流を通して相互理解を深め、多文化共生の地域づくりを推進します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
日常生活の中で在住外国人と交流している市民の割合	市民実感度	7.090	11.490	11.040			
	加重平均値	1.282	1.492	1.502			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		71.640	70.880			
	加重平均値		3.013	2.959			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
国際交流事業への参加者数	目標値	人		400	405	410	415	420
	実績値	人	390	1,146	1,000			
	達成度	%		286.50	246.91			
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	・国際化を推進していくには、国際交流事業に参加してもらうことが重要であるため指標とした。
	目標値設定の考え方	・参加者数を正確に把握することは難しいが、毎年微増していくことを目指す。

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	<p>市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化、スポーツなどさまざまな分野における交流事業に参加します。 在住外国人との交流を通して相互理解を深めます。 市内の国際交流団体を統括する笠間市国際交流協会は、市と連携して国際交流事業を推進します。
行政の役割	<p>市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化に対応できる人材を育成します。 市内在住外国人との国際交流(多文化共生)を推進します。 海外都市との交流を推進します。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果, 成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとまつりinかさまで、国際交流イベントとして、かぼちゃのランタン作りやわたあめ販売を行った。 笠間市国際交流協会主催で、日本語教室を毎月3回開催した。(対象者約10名)また、陶炎祭観光通訳ガイド、外国人夏祭り交流会、外国人笠間の祭り交流会、外国人への半被の着付け・神輿体験、外国人書初め交流会等を実施した。 笠間市日中友好協会主催で、中国語講座を毎月4回2会場で、また、中国人との交流会(バーベキュー)を実施した。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)

○市民実感度指標と数値指標の分析による当該施策の位置

領域 I 現状を維持しつつ、効率化を目指す領域
 領域 II 施策を構成する事務事業及び事業内容等を見直し市民実感度を高める必要のある領域
 領域 III 施策並びに構成する事務事業の必要性を検討する領域
 領域 IV 施策の重点化を図り市民実感度を高める必要がある領域

指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価

- 数値目標である国際交流事業の参加者については、目標値を大きく上回っているため今後、目標値の変更を行っていく。また、笠間市及び笠間市国際交流協会、笠間市日中友好協会の事業も参加者だけではなく、現状にあった内容の充実を図っている。

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

- 施策目標を達成するための事業構成は妥当である。

残された課題

平成26年度以降に残る課題, その要因として考えられること。

- 笠間市国際交流基金の活用
- 韓国などアジア地域の都市との交流検討。

5 今後の方向性

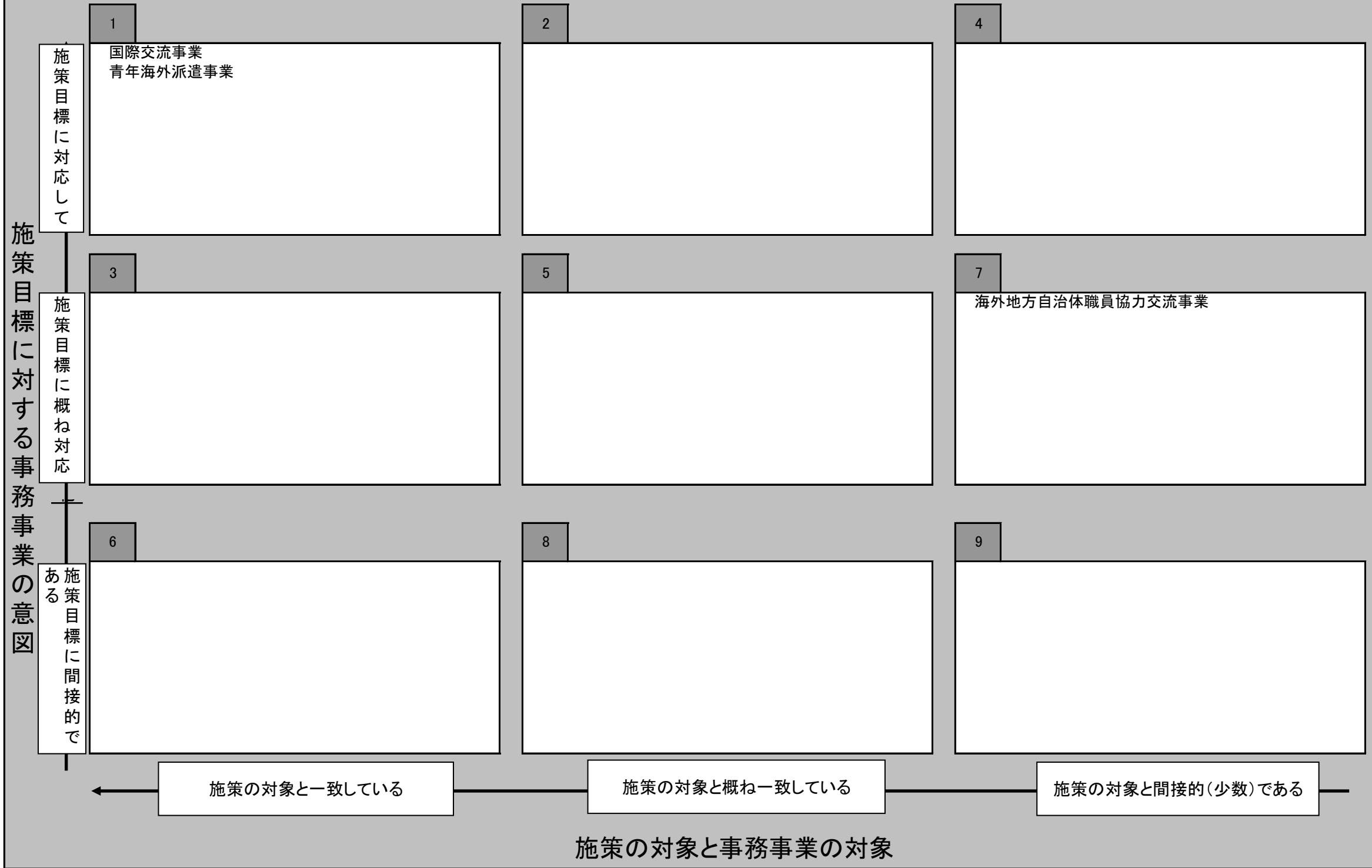
取組方針	<p>平成27年度に向けた施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 笠間市国際交流推進方針に沿った事業を展開し、多文化共生の地域づくりを推進する。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
1	国際交流事業	国際化に的確に対応したまちづくりを促進するために、国際交流イベントとしてふるさとまつりinかさまにおいてハロウィンランタンづくりを実施。	政策的事業	国際交流事業への参加	人	390	1,146	1,000	市単	560	566	559	1
2	青年海外派遣事業	国際的視野を広め、海外での日本の役割や国際感覚・国際理解の精神を養い、外国人と共生できる人材を育成するために笠間市の青年(18~40才未満)8名を韓国に派遣。	政策的事業	社会貢献活動	回	1	3	3	市単	886	0	1,469	2
3	海外地方自治体職員協力交流事業	国際化の進展に対応できる人材の育成や笠間市の国際化施策への協力を通じて地域の国際化を推進するとともに、観光面において海外からの観光客の誘客を促進する。	政策的事業	研修生受入人数	人	-	-	2	市単	-	-	0	7
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										1,446	566	2,028	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 国際化

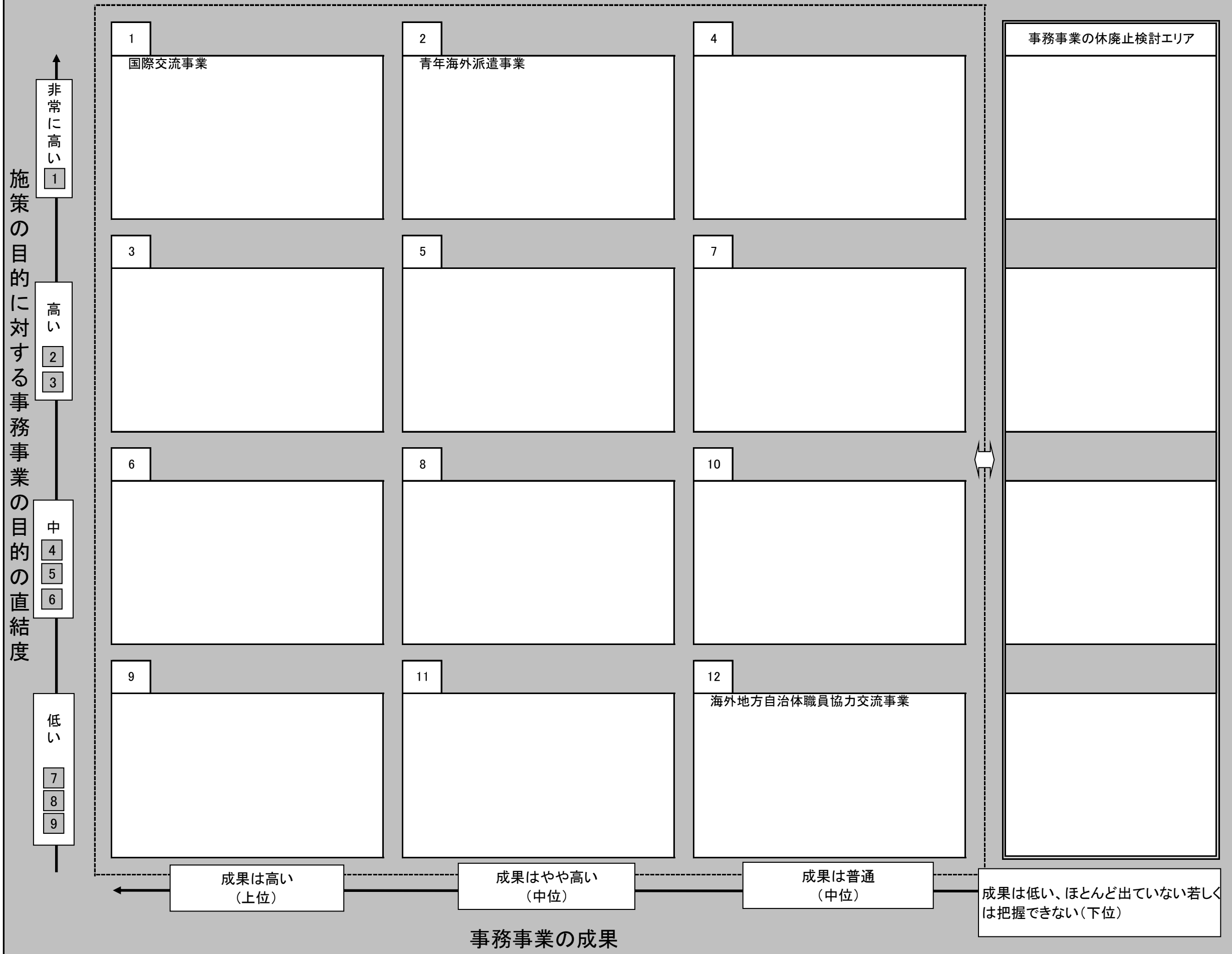


法定受託事務(義務的事業に分類)

事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 国際化



1
国際交流事業

2
青年海外派遣事業

4

3

5

7

6

8

10

9

11

12
海外地方自治体職員協力交流事業